



りそなグループ

りそな マーケットフラッシュ デイリー

◆前営業日の相場動向◆

エヌビディア決算好感で米国株がハイテク株主導で上昇

	8/27	前日比		8/27	前日比		8/27	前日比
日本国債(10年)	2.890%	0.005%	日経平均(円)	66,131.98	-130.18	ドル円	159.39	0.08
独国債(10年)	3.253%	0.019%	独DAX(pt)	26,367.24	81.28	NY原油	83.53	1.30
米国債(10年)	4.676%	0.030%	NYダウ(ドル)	53,569.44	105.56	NY金	4,627.80	10.30

【ポイント】

- **日本株は下落**: 日本時間早朝に公表されたエヌビディアの好決算を受け、高寄りでスタート。しかし、追随買いは限定的で、徐々に売りに押される展開となった。売り一巡後は、イラン情勢の不透明感等もあり、方向感に乏しい動きとなった。
- **米国株は上昇**: 前日引け後に公表されたエヌビディアの好決算を受け、AI関連銘柄を中心に買いが広がり、ハイテク株が急伸。ナスダック総合が堅調であった。3指数揃って上昇したものの、S&P10業種中ハイテク株を除く9業種が下落した。
- **米金利は上昇**: 原油価格の反発によるインフレ懸念に加え、ジャクソンホール会合でのウォーシュFRB議長講演を控え、タカ派発言への警戒もあり金利上昇につながった。
- **ドル円は横ばい**: 円は主要通貨に対して売りが優勢となった一方、ドルも上値が重く、ドル円は方向感に乏しい動き。160円接近では介入警戒が意識される一方、円買い戻しの動きも限定的であった。

【主な材料】

- 氷見野日銀副総裁講演: 物価上振れリスクへの警戒と毎会合での利上げ検討を改めて示したものの、7月会合から大きな変化はなく、市場への影響は限定的であった。

◆本日の見通し◆

月末要因の米金利低下を受けたドル円下落を予想

予想レンジ

日本株 ↗ 66,000-67,000

米金利 ↘ 4.60-4.70

ドル円 ↘ 158.80-159.60

- **日本株**は上昇を予想。エヌビディア決算を受けた米ハイテク株高が追い風となり、日本株にも買いが先行するとみる。
- **米金利**は低下を予想。ウォーシュFRB議長講演では金融政策への示唆は乏しく、イベント通過後は月末要因の買いから金利低下を見込む。
- **ドル円**は下落を予想。日銀の9月利上げ観測がくすぶるなか、米金利低下を受けたドル売りが優勢となり、ドル円は下落を見込む。

◆本日の注目ポイント◆

ジャクソンホール、注目は利上げサインよりウォーシュ流Fed改革

- 本日はジャクソンホール会合でのウォーシュFRB議長の講演が注目される。前提としてパウエルFRB前議長とウォーシュ氏の違いを認識しておく必要がある。パウエル氏はFOMC前に参加者と話し合いをされていた。調整を経て、結果として全会一致の会合が多かった。一方ウォーシュ氏はこうした予定調和型の議論を嫌い「家族の喧嘩」と言われる健全な議論を戦わすことを好む。その結果、票が割れることは厭わない。政策金利の予測も公表することでマーケット環境の変化に柔軟に対応できなくなることを懸念している。
- 従ってウォーシュFRB議長は今回も曖昧で金融政策に対するサインは示さないであろう。マーケットを動かすとしたら現在進捗している5つタスクフォースの中間報告が出た場合。①バランスシート戦略でウォーシュ議長が従来より主張する縮小方向の議論が出てくれば金利上昇要因②速報性のある経済指標についてマネー指標等、具体的な指標が示されれば今後市場の注目が雇用統計のような従来指標からシフトするであろう。



出所: ECBフォーラムでウォーシュ氏の発言を基に当社作成(Open AI Chat Gptを使用)

◆当面の注目イベント◆

	イベント	注目点
8/27-29	米ジャクソンホール・シンポジウム	かつては米FRB総裁が将来的な金融政策スタンスを公表する機会として活用し注目された。ウォーシュ議長は、現在5つのタスクフォースを立ち上げており、この機会に進捗状況について公表する可能性がある。バランスシート政策や新たに注目すべき経済指標の行方が焦点となる。
9月上旬	概算要求総額とりまとめ	各省庁は8月末までに財務省に来年度予算の概算要求を提出する。新設する「強く豊かな日本」投資枠にはシーリングを設けないことから総額の上げ下げが警戒される。日本の財政懸念につながる可能性があり注目したい。



りそなグループ

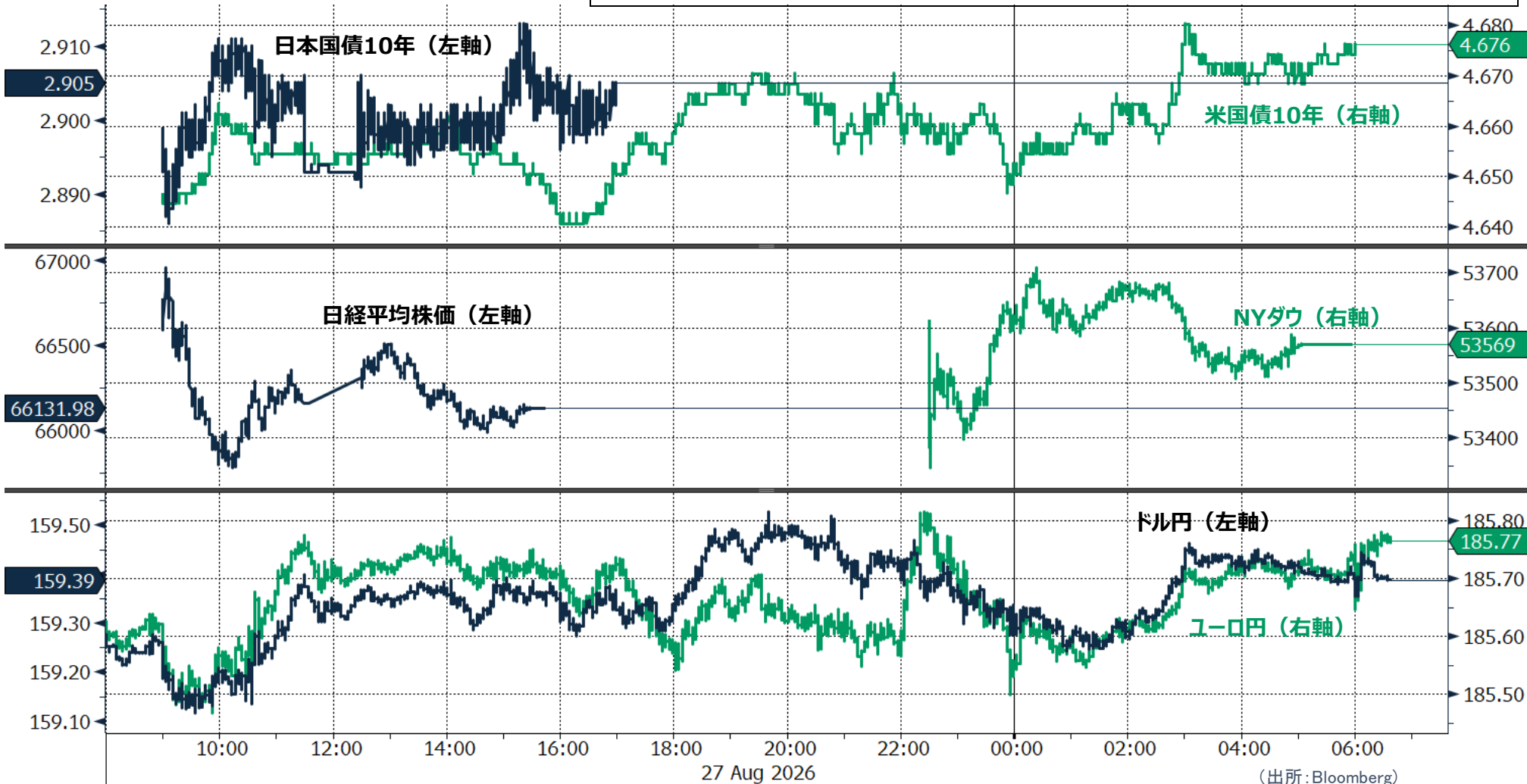
りそな マーケットフラッシュ デイリー

◆前営業日のマーケット動向◆

○TOPIX33業種中 18業種が下落（値下がり率上位） その他製品> 精密機器> 医薬品

○S&P11業種中 10業種が下落（値下がり率上位） 生活必需品> ヘルスケア> 一般消費財・サービス

○主要通貨強い順 AUD> CAD> CHF> EUR> USD> GBP> JPY



◎注意事項◎ お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されてい
ると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的として
おり、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願いいたします。



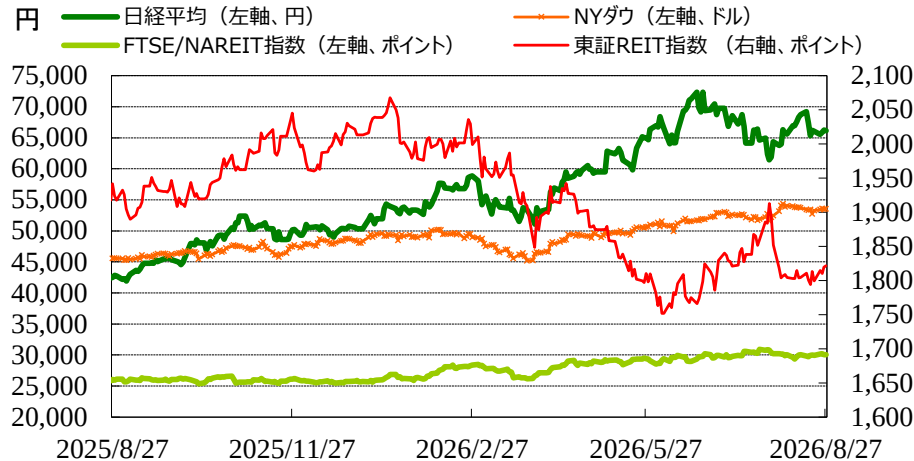
りそなグループ

りそな マーケットフラッシュ デイリー

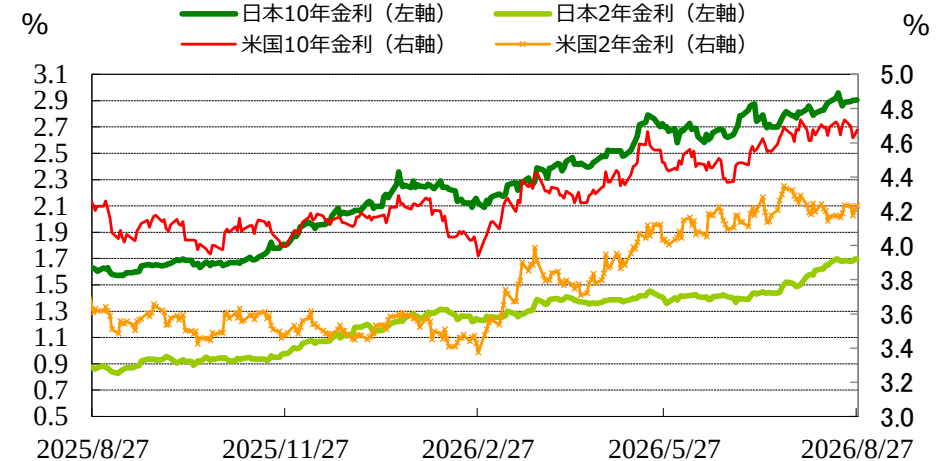
(出所：Bloomberg)

◆マーケット・チャート◆

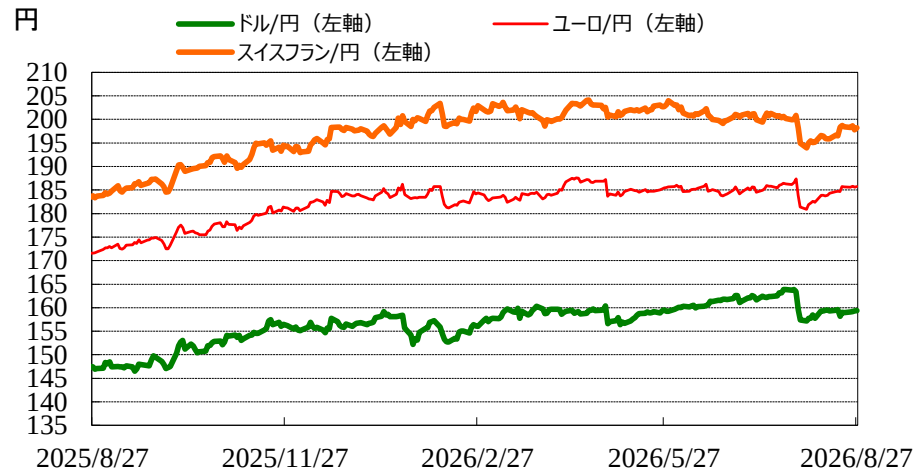
図表1：株式市場（日経平均、NYダウ、東証REIT指数、FTSE/NAREIT指数）



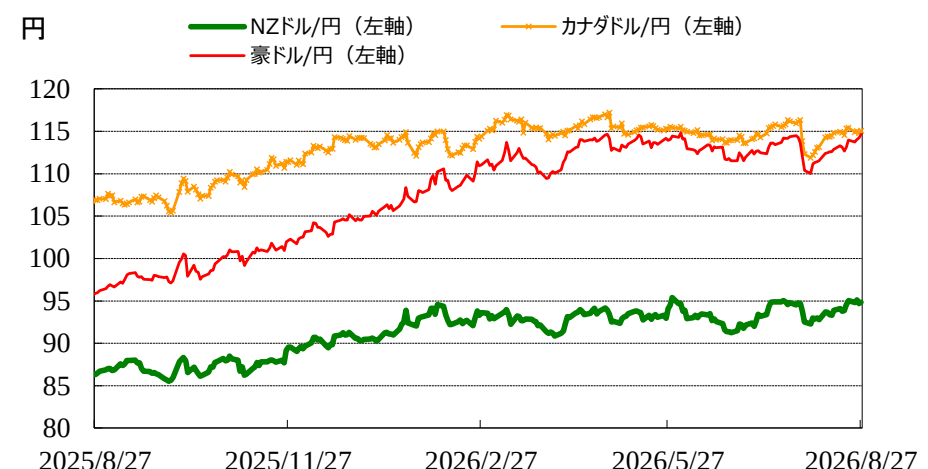
図表2：債券市場（日米2年金利、10年金利）



図表3：為替市場（ドル/円、ユーロ/円、スイスフラン/円）



図表4：為替市場（豪ドル/円、NZドル/円、カナダドル/円）





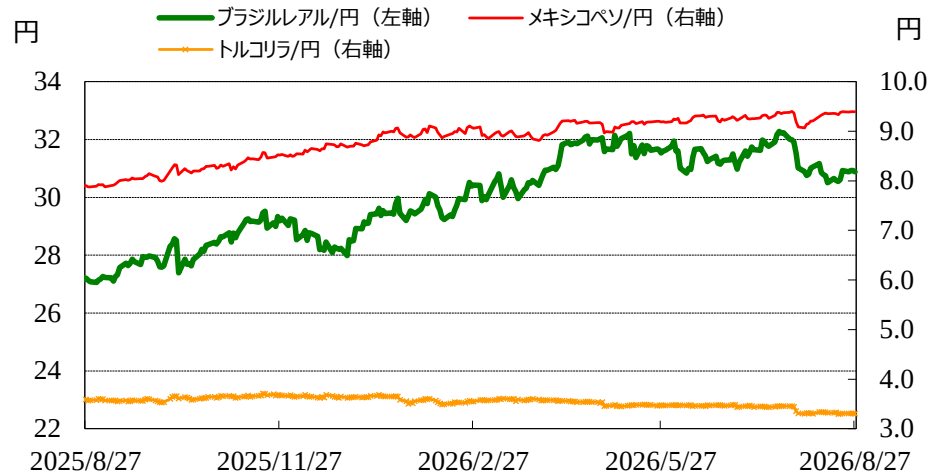
りそなグループ

りそな マーケットフラッシュ デイリー

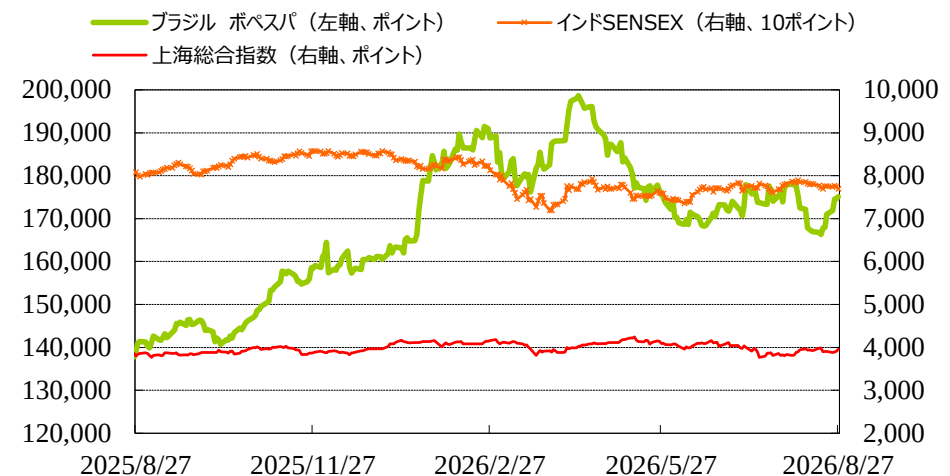
(出所：Bloomberg)

◆マーケット・チャート◆

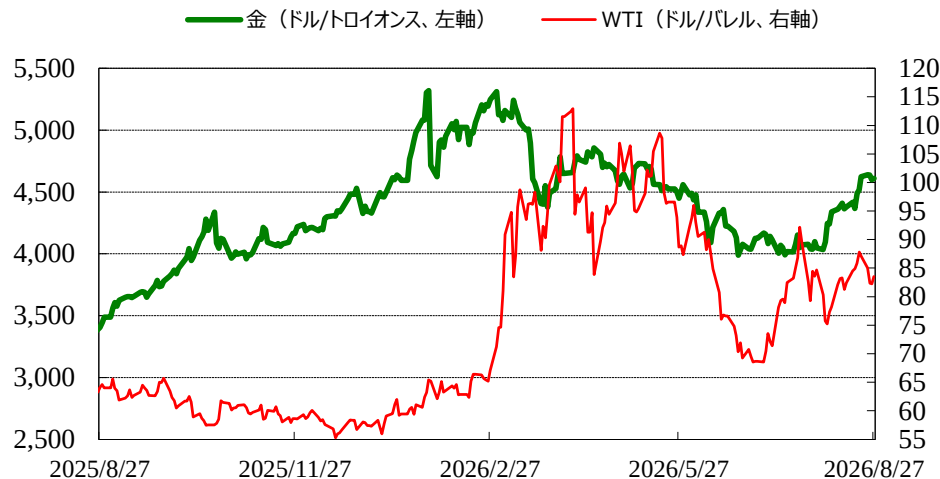
図表5：為替市場（ブラジルレアル/円、メキシコペソ/円、トルコリラ/円）



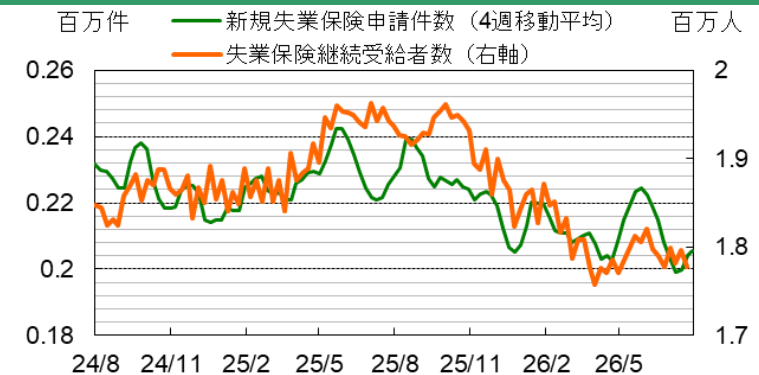
図表6：株式市場（ブラジル株、インド株、中国株）



図表7：商品市場（金・原油）



図表8：新規失業保険申請件数



出所：Bloomberg

新規失業保険申請件数(8/22週)：203千件（予想208千件、前週207千件）

失業保険継続受給者数(8/15週)：1,778千人(予想1,792千人、前週1,796千人)

◎注意事項◎ お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されてい
ると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的として
おり、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

(出所：Bloomberg 朝8時時点で公表済みの数値を更新)

○注意事項◎ お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されてい
ると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的として
おり、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。